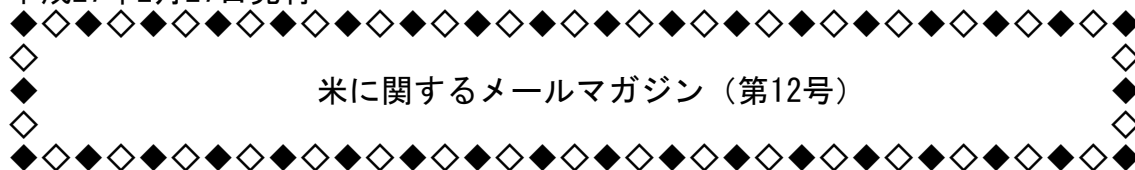


平成27年2月27日発行



米に関するメールマガジン（第12号）

平成25年秋に決定した米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めることとしており、平成26年3月から米の流通に係るよりきめ細かい需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等の提供を行うこととしています。

平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等の状況について（平成27年1月）、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめ、本日公表しましたのでお知らせします。

★ 平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成27年1月） ★

（1）相対取引価格

平成27年1月の相対取引価格は、全銘柄平均価格で、12,078円/玄米60kg（対前月比▲0.5%）となっています。

（2）契約・販売状況

平成27年1月末現在の全国の集荷数量は330万トン、契約数量は206万トン、販売数量は90万トン、集荷数量に対する比率は、それぞれ62%、27%となっています。

（3）民間在庫の推移

平成27年1月末現在の全国段階の民間在庫は、出荷・販売段階の計で347万トン（前年同月差▲11万トン）となっています。

（4）事前契約数量

全国の前契約数量は、99万トン、集荷数量に対する比率は30%となっています。

（詳しくはこちら）

○「平成26年産米の相対取引価格・数量（平成27年1月）（速報）」（PDF：211KB）  
→ [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701\\_kakaku.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701_kakaku.pdf)

○「平成26年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成27年1月末現在）（速報）」（PDF：112KB）  
→ [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701\\_hanbai.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701_hanbai.pdf)

○「民間在庫の推移（速報）」（PDF：250KB）  
→ [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701\\_zaiko.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701_zaiko.pdf)

○「産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成27年1月末現在）（速報）」（PDF：97KB）  
→ [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701\\_jizen.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2701_jizen.pdf)

本資料及び過去の調査結果（相対取引価格）は、当省ホームページから御覧になれます。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

上記情報も含め、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を毎月上旬に公表しています。

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

★ 「米の安定取引研究会」開催 ★

「米の安定取引研究会」の第3回会合を、平成27年2月17日（火曜日）に開催し、米の安定取引の拡大に向けた現状と課題と米の現物市場の現状と課題について意見交換を行いました。

（資料はこちら）

→ [http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/kome\\_antei\\_torihiki/27217.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/kome_antei_torihiki/27217.html)

★ 平成26年度補正予算「稲作農業の体質強化緊急対策事業」の最終募集を行います（締切：3月19日）★

本事業は、稲作農業者が生産コスト低減計画を策定し、この計画に基づき行う取組（肥料・農薬代などの資材費の低減や育苗作業などの労働時間の短縮を図る取組、直播栽培、農業機械の共同利用）を支援するものです。

本日（27日）を締切として2次募集を行っておりましたが、この度、3月19日を締切として最終募集を行うことにいたしました。

既に生産コスト低減に向けた取組を行っている方でも、更なるコスト低減に向け新たな工夫をしていただければ支援の対象となるなど、取り組みやすい内容になっていますので、興味関心のある方は奮ってご応募ください。

事業の詳細等については、地方農政局や農業再生協議会等にお問い合わせください。また、事業にかかるQ&A等を農林水産省HPにて公表しておりますので御覧ください。

（詳しくはこちら）

→ [http://www.maff.go.jp/j/seisan/nosan/inasaku\\_kyouka.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/nosan/inasaku_kyouka.html)

★ 米粉活用による食物アレルギー対応セミナーについて ★

NPO法人国内産米粉促進ネットワークは、米粉活用による食物アレルギー対応セミナーを開催します。

食物アレルギー対応についての講演の他、アレルギーに対応した米粉食品試食展示会もございます。ご興味のある方は奮ってご参加ください。

- ・日 時：平成27年3月7日（土曜日） 10時～13時
- ・場 所：製粉会館東京都中央区日本橋兜町15番6号
- ・参加者：先着順100名
- ・参加料：無料

（参加申込方法等はこちら）

→ [http://www.komeko-meijin.com/common/img/img\\_application03.pdf](http://www.komeko-meijin.com/common/img/img_application03.pdf)

★ 平成27年度予算事業「大豆・麦・飼料用米等生産拡大支援事業（作付体系転換支援事業、米粉製造革新技術等開発支援事業）」の公募について（公募締切：3月6日（金曜日）まで） ★

現在、平成27年度予算事業「大豆・麦・飼料用米等生産拡大支援事業（作付体系転換支援事業、米粉製造革新技術等開発支援事業）」の公募を行っていません。公募の締切は3月6日（金曜日）までです。

<支援内容>

需要に応じた大豆、麦、飼料用米等の戦略作物の本作化を推進し、水田のフル活用を図るため、産地における大豆・麦の収量・品質の向上・安定化に資する栽培技術や飼料用米の多収性品種等の導入実証、農地の高度利用等に資する作付体系への転換等の取組を支援します。

また、米粉の製造コストの低減と新たな需要の開拓を目指し、米粉・小麦粉製造事業者等が一体となって実施する製造コスト低減技術や、米粉と小麦粉のミックス粉等の新たな米粉製品の開発を支援します。

(詳しくはこちら)

→ [http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/150213\\_3.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/150213_3.html)

★ 平成27年産備蓄米の政府買入札について ★

平成27年産備蓄米の政府買入札について、第2回（平成27年2月10日実施）及び第3回（平成27年2月24日実施）の結果を公表するとともに、第4回（平成27年3月10日予定）について公告しました。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

★ 平成26年産米の農産物検査結果について ★

平成26年産米の農産物検査結果（1月31日現在）を公表しました。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/kome/index.html>

【米に関するメールマガジン】

発行：農林水産省生産局農産部農産企画課